

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅰ		
担当者(Instructors)	今瀬 政司	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

この演習では、「自治と協働による地域づくり」について、その実践ノウハウを学ぶ。自治とは「自らの運命は自ら決め、自ら行うこと」である。協働とは「目的を共有して対等な関係で一緒に成し遂げること」である。地域づくりは「社会・地域の課題を解決して地域を活性化すること」である。昨今、ニュース等では深刻な社会・地域問題の情報が溢れていますが、世の中捨てたものではなく、これからの時代が明るくなることを信じて、希望を切り拓こうと頑張っている人たちが、地域にはたくさんいる。前期と後期を通した具体的な学習内容は、①専門的知識や様々な具体的な事例の学習、②独自プロジェクトの企画立案と調査研究・実践活動、③学外の地域の人たち（行政・企業・NPO・他大学等）との連携、④実践的なビジネススキル（表現する力、受け止める力、協働する力等）の学習などである。1年間の集大成として卒業論文（中間）を完成させる。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	プレゼンテーションやディスカッション、グループワークの機会も取り入れる。様々な時事問題や雑学、受講者の問題意識なども積極的に取り上げる。進路・就職活動や学内外活動等での個別相談も必要に応じて行う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	演習の内容・進め方等、大学とNPO・企業・行政等の協働による地域活性化	□
第2回	地域づくりの知識・ノウハウ(1)：NPOと公益活動	協働による地域づくりの専門的な知識・ノウハウ(1)：公益の担い手としてのNPO	□
第3回	地域づくりの知識・ノウハウ(2)：NPOと経済活動	協働による地域づくりの専門的な知識・ノウハウ(2)：経済主体・ビジネスの担い手としてのNPO	□
第4回	実践のスキル・ノウハウ(1)：地域活性化	地域づくりのためのNPO活動やボランティア活動などの実践的な活動スキル・ノウハウ、就職活動・学外活動等のノウハウなど	□
第5回	地域づくりの知識・ノウハウ(3)：協働のあり方	協働による地域づくりの専門的な知識・ノウハウ(3)：地域の活動や政策のあらゆる場面で必要な協働性の原則	□
第6回	地域づくりの知識・ノウハウ(4)：協働の現状と課題	協働による地域づくりの専門的な知識・ノウハウ(4)：協働の活動や政策の現状と課題	□
第7回	実践のスキル・ノウハウ(2)：協働	地域づくりに向けた大学とNPO・企業・行政等の協働・連携・協力の実践的な活動スキル・ノウハウ、就職活動・学外活動等のノウハウなど	□
第8回	地域づくりの知識・ノウハウ(9)：地域活性化の事例	協働による地域づくりの専門的な知識・ノウハウ(9)：災害時における公共・公益活動、地域づくりの事例	□
第9回	地域づくりの企画立案(1)：企画書とは	自治と協働による地域づくりの取組みの企画立案(1)：企画書の作成ノウハウ	□
第10回	地域づくりの企画立案(2)：企画書の作成	自治と協働による地域づくりの取組みの企画立案(2)：企画書の具体的作成	□
第11回	地域づくりの企画立案(3)：企画書の発表と評価	自治と協働による地域づくりの取組みの企画立案(3)：企画書のプレゼンテーションとディスカッションと評価	□
第12回	地域づくりの企画立案(4)：企画書の更新	自治と協働による地域づくりの取組みの企画立案(4)：企画書の修正・更新	□
第13回	地域づくりの企画立案(5)：企画書の更新発表と評価	自治と協働による地域づくりの取組みの企画立案(5)：企画書更新版のプレゼンテーションとディスカッションと評価	□
第14回	文書作成のスキル・ノウハウ(1)：レポート・論文作成	レポート・論文作成のスキル・ノウハウ、表現力、情報の収集・分析・発信力、就職活動・学外活動等のノウハウなど	□

第15回	文書作成のスキル・ノウハウ(2)：ビジネス文書作成	ビジネス文書、実社会での書類作成のスキル・ノウハウ、ビジネスマナー、就職活動・学外活動等のノウハウなど	□
------	---------------------------	---	---

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

課題に対して自発的・自律的に学習、情報収集、レポート、調査・実践活動などに取り組むこと。自らの興味に応じて様々な手段で学びを深め、取組み、自身で分からない疑問・問題等は、積極的に教員に質問・相談等を行うこと。（事前・事後で4時間程度）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

演習テーマに関連する様々な時事問題や雑学、あるいは受講者の問題意識に関連した事柄についても積極的に取り上げる。演習での課題のほか、進路・就職活動や学内・学外活動等の相談にも乗り個別面談アドバイスを行う。学習・取組みの成果は、今瀬研究室ホームページで情報発信する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
	◆ 2018地域ビジネスDP2	協働と地域づくりの知識・実践ノウハウを理解・説明できる。
	◇ 2018地域ビジネスDP3	自治と協働による地域づくりの取組みの企画を立案することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			30%	70%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

その他：授業期間中レポート

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN (ISBN)
1	今瀬政司 (2011) 『地域主権時代の新しい公共 希望を拓くNPOと自治・協働改革』学芸出版社	978-4-7615-2525-5
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN (ISBN)
1	演習テーマに関連した参考文献や実践的な経営情報等を随時紹介する。	
2		
3		
4		
5		